

平成27年度第3四半期

退職等年金給付組合積立金 運用状況

東京都職員共済組合

退職等年金給付組合積立金の運用について

- 退職等年金給付組合積立金の運用について、国債利回り等に連動する形で給付水準を決めるキャッシュバランス型年金の特性を踏まえ、退職等年金給付事業の運営の安定に資することを目的として行います。
- 制度発足当初は積立金が存在しない状態から始まっていることから、当面、基本ポートフォリオを構成する資産区分については、国内債券のみとしています。

平成27年度第3四半期運用状況の概要

- 第3四半期末の運用資産額は、38億円となりました。
- 第3四半期の実現収益は、運用を開始した時期のため利息収入が少なく、実現収益額は+0億円、実現収益率（期間率）は+0.05%となりました。

(億円)

	平成26年度	平成27年度				年度
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
資産残高				38		38
実現収益率				0.05%		0.05%
実現収益額				0		0

※ 年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要ですが、情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

(注) 収益率及び収益額は、当該期間中に清算された運用手数料等を控除したものです。

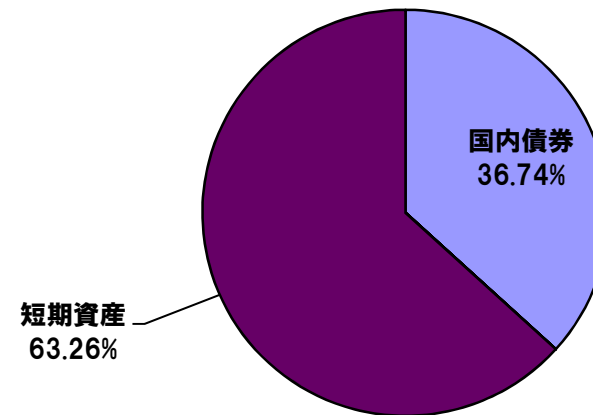
資産状況

(億円)

	平成26年度		平成27年度							
	簿価 (時価)	構成比	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
			簿価 (時価)	構成比	簿価 (時価)	構成比	簿価 (時価)	構成比	簿価 (時価)	構成比
国内債券							14	36.74%		
							(14)			
短期資産							24	63.26%		
							(24)			
合計							38	100%		
							(38)			

(注) 数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

平成27年度第3四半期 運用資産別の構成割合



収益率の状況

	平成26年度	平成27年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度
実現収益率				0.05%		0.05%

(注) 収益率は、当該期間中に清算された運用手数料等を控除したものです。

収益額の状況

(億円)

	平成26年度	平成27年度				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度
実現収益額 (総合収益額)				0 (0)		0 (0)

(注) 収益額は、当該期間中に清算された運用手数料等を控除したものです。

平成27年度第3四半期運用環境

【各市場の動き（10月～12月）】

国内債券 ○10年国債の利回りは、原油価格の下落や日本銀行の金融緩和措置などを背景に、低下（債券価格は上昇）しました。

○地方債・地方公共団体金融機構債の対国債スプレッド（利回りの差）は、ほぼ横ばいとなりました。

用語解説（50音順）

○ 総合収益額

実現収益額に加え資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。

（計算式） 総合収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益の増減（当期末未収収益 - 前期末未収収益）
+ 評価損益増減（当期末評価損益 - 前期末評価損益）

○ 退職等年金給付組合積立金

被用者年金一元化後、各共済組合、市町村連合会（以下「共済組合等」という。）が年金払い退職給付のため積立を開始し、管理運用している積立金をいう。